

分野：②

(校庭にツミやオオムラサキの棲む学校ビオトープを創ろう)

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立西富小学校 5年(61人)

所要時間  1時間20分

場所 所沢市立西富小学校

実施時期 令和2年11月13日

概要

校庭の一角に地域の野生の生きものが棲める学校ビオトープを創る
 ビオトープの目標種はツミとオオムラサキ
 水辺と林と草地を創る
 できるだけ子ども達の手で、創るだけでなく継続性をもつ

プログラムの
ねらい

地域の自然を守り育てるために全校児童が参加する。
 6年生が掘ったところを更に5年生が掘る。
 スコップを使って水辺の池を掘る、池の大きさと深さを覚えてもらい、低学年から聞かれても答えられるようにする。池に棲む生きものを考える。

プログラムの内容

1 ビオトープの意義と役割(5分) 1クラス40分授業を2クラス

なぜビオトープを創るのか(5分)
 道具の使い方、注意すべき点
 完成予想図をホワイトボードで示す

2 スコップで穴を掘りながら進み具合を定規で確認する(30分)

スコップの使い方を説明する。
 スコップを交代で使う。
 友達に怪我をさせないようにお互いの間隔を取る。
 定規を使い掘った深さを測る。



3 活動を振り返る(5分)

作業前と後の様子を観察する。
 全員で集合写真

受講者の反応

6年生の掘った穴をスコップで掘りましたが、硬いところがありなかなか掘ることができませんでした。時々、定規で測りながら掘っていきましたが、掘るだけでなく測ることが楽しかった。6年生が掘ったときにカエルが出てきたと聞いたので今日も出てきてくれればいいなあと思いました。コガネムシの幼虫がたくさん出てきてびっくりしました。草の根が固くて苦労しました。完成が楽しみです。